

2018年度 事業報告

当財団は青少年の健全育成を目的として1974年に設立され、現在は子ども文庫助成事業と電子図書普及事業を行っている。2018年度は、子ども文庫助成では44回目の助成を行った。電子図書普及事業では、マルチメディアDAISY図書の製作配布を8年間行い、2018年度では1,318ヶ所に配布した。

子ども文庫助成事業

1975年より継続して実施している国内外で子どもの読書活動を草の根活動として携わるボランティアの皆様への助成に加え、2018年度も、東南アジアの子どもたちに向けた「絵本を届ける運動」に参加している。

2018年度 助成件数・金額

本年度の助成件数・金額は、以下の通り。

(金額単位：百万円)

	実績	
	助成件数	助成金額
① 子どもの本購入費助成	43	13
② 病院読書支援 購入費助成	3	1
③ 子どもの本100冊助成	29	4
④ 子ども文庫功労賞	3	1
⑤ その他読書支援		
シャンティ絵本を送る活動	-	2
被災地読書支援	14	3
小計	92	24

①子どもの本購入費助成（現金助成）

- ・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、こども文庫連絡会等で、子ども達の読書啓発活動を行っている民間の団体又は個人、及び実質的に草の根運動とみなされる団体。

- ・内容

図書等の購入、充実を目的とした購入費を1件当たり30万円助成。

②病院・施設子ども読書活動費助成（現金助成）

- ・対象

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設等の子どもたちに対し読書啓発を行っている民間の団体又は、個人及び実質的に草の根運動とみなされる団体。

- ・内容

子どもたちが読書を楽しむための図書等の購入、及び障害のある子どもたちに対する支援機器等の購入、図書作成のための費用を含み、30万円助成。

③子どもの本100冊助成（図書現物助成）

- 対象
上記①、②共通
- 内容
当財団が選書した 100 冊の児童書セット（小学校低・中・高学年別の 3 種類及び新 150 冊セット）のうち 1 セットを贈呈。

④子ども文庫功労賞

- 対象
子ども文庫を長年に亘り（20 年以上）を運営されてきた個人で、子どもの読書啓発活動に貢献されてきた方。第三者のご推薦による申し込み。
- 内容
賞状、副賞（30 万円及び記念品）

⑤その他読書支援

シャンティの絵本を東南アジアの子どもたちへ贈る運動

- 対象
カンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマーの子ども達。
- 内容
シャンティ国際ボランティア会が主宰するカンボジア、ラオス、アフガニスタン、ミャンマー等に、日本語の絵本を贈る運動。東日本大震災の被災地の子どもたちや、伊藤忠商事社員と活動に参加し、2018 年度は 920 冊を送った。

被災地読書支援

- 内容
全国学校図書館協議会に協力頂き、東日本の被災地で児童書を必要としている小学校 10 校に子どもの本 100 冊セットを 10 セット、及び西日本豪雨被災地の小学校等 4 校に同 11 セットを寄贈した。

電子図書普及事業

障害があるために、通常の書籍では読む事が困難な子どもたちの「読書環境の向上」を目的に、児童書を電子化し、「わいわい文庫」と名づけ、全国の特別支援学校等へ寄贈している。あわせて、「わいわい文庫」の普及と、障害のある子どもたちの読書支援を目的とする「読書バリアフリー研究会」の主催や、「福祉機器展」等への出展を全国各地で行っている。

1.電子図書の製作、配布

前年度製作した電子図書 74 作品を 1,318 団体に寄贈した。特別支援学校に加え、普通学校へのわいわい文庫の周知が進み、87 件増加した。

2018 年度は 83 作品を製作。「日本昔話の旅シリーズ」では、14 の府・県立図書館の協力を得、累計で 45 都道府県の作品を揃えた。又、日本障がい者スポーツ協会、宇宙航空研究開発機構などの協力を得て、各団体のパンフレットを電子化した。

2.利用促進活動

- ・「わいわい文庫」の利用促進と利用者の利便性向上を目的とし、「わいわい文庫活用術⑦」及び、製作済みの作品の分類表である「わいわい文庫 area map」の編集、配布を行うとともに、財団 HP 上に作品検索ができるコーナーを新設した。

3.広報・啓蒙活動

① 読書バリアフリー研究会の開催

各地の公共図書館の協力のもと、文部科学省、公益社団法人全国学校図書館協議会、開催地の教育委員会の後援を得て大学教授などの専門家を招き、全国 8 か所で開催し、約 500 名にご参加頂いた。障害のある子どもたちへの読書支援に必要な、知識・方法を教職員、図書館員、ボランティアの皆様と共に学ぶ事を目的としている。

② 福祉機器展等への出展

教職員、図書館員、福祉関係者等の関係者が集まる会に参加し、「わいわい文庫」の周知を目的に全国 7 か所で展示を行った。

③ 他団体主催講演等への協力

主催団体の依頼を受け、全国 9 か所で講演や執筆を行い、財団事業の周知を行った。